北海道の山に登る皆さんへ

～　北海道の山の特徴　～

日本の国有面積の5分の1を越える北海道の山々は、大自然そのものであり、美しい景観と動植物の宝庫となっています。

北海道の山々の中には、日本百名山に選ばれた山が9つあります。
それは、「利尻山」、「羅臼岳」、「斜里岳」、「雌阿寒岳」、「旭岳」、「トムラウシ山」、「十勝岳」、「幌尻岳」、「羊蹄山」で、どの山も魅力的な山です。

北海道の山の特徴として山が高緯度にあり、その気象条件は、一般的に道内の標高2,000m級の山の気候が、本州の3,000m級の山に匹敵すると言われていますので、夏でも十分な防寒対策が必要となります。

また、一部の山を除いて、暖をとるストーブもない避難小屋程度の設備ですから、自炊・テント泊が行動の基本となります。

そのほか、北海道の山は登山口から山頂までの距離が非常に長く、時間と十分な体力が必要となります。

～　北海道の山の特徴は、
「長い・寒い・小屋がない」
ことを忘れないでください　～